

科目区分	専門教育科目	科目名	保育実習 I		科目コード	50602	担当者	光武 きよみ
対象学生	幼児教育学科1年生	学期区分	1年後期 2年前期	単位数	4	卒業要件	選択	
						免許・資格要件	保育士資格必修	
科目の主題						成績評価の方法と割合		
大学で修得した内容をふまえ、児童福祉施設などの役割や機能を、観察や子どもとのかかわりを通して具体的に理解する。また、保育の計画、実践、記録、自己評価を経験し、保育士の業務内容や職業倫理について総合的に学ぶ						受講態度 50% 実習評価 50%		
科目の到達目標						教育目標に基づく学修成果の到達目標		
						誠実な人柄と人間力(尽心)	高度な知性と創造力(創造)	明確な意志と実践力(実践)
1.	保育所・施設の社会的役割や具体的活動などを理解する							○
2.	保育所・施設の概要や一日の流れを把握する							
3.	子どもの様子を把握し、子どもへの理解を深める					○		
4.	保育者の仕事と役割について把握し、理解する						○	
5.								
授業方法								
学外実習（児童福祉施設1年次12月または3月に10日間・ 保育所 2年次8月に10日間）								
準備学修（予習、復習等に必要な時間または具体的な学修内容）								
保育実習指導 I、実習園の事前訪問などで実習に対する知識・技術・姿勢をしっかりと学ぶ。「教育・保育実習の手引」を熟読し実習に備える。								
授業計画								
<p>1. 施設 実習期間：1年次 12月 10日間 12月期実習生 3月 10日間 3月期実習生</p> <p>児童福祉施設（保育所以外）で10日間、利用者と生活を共にし、食事や身の周りの支援、また各種作業を共にすることを通して、利用者の実態を理解することに努め、施設や利用者の実状に応じた働きかけの大切さを学ぶ。</p> <p>a. 現場における基本的な勤務態度・姿勢を学ぶ b. 働きかけの姿勢や技術を学ぶ ・ 集団への働きかけ（集団の把握） ・ 個々への働きかけ（個別への対応） ・ 居室内の整備 ・ 職員の協力・連携 など c. 記録の書き方を学ぶ ・ 利用者との関わりを反省しふりかえる</p> <p>2. 保育所 実習期間：2年次 8月 10日間</p> <p>1) 見学・観察実習／参加実習 a. 実習保育所について理解する 実習園の保育方針や特色を理解する。また、1日の生活の流れ、および施設・設備の状況について把握する。 b. 乳幼児とふれあう 乳幼児の様子を観察したりふれあうことにより、乳幼児の年齢や発達状況を把握する。 乳幼児と保育者との関わりの様子を学ぶ。</p> <p>2) 部分実習／総合実習 担当保育者の指導のもとに、実習生が指導計画を立て、準備→展開→評価にいたる保育活動を主体的に担当し、全般的な技術の習熟をはかる。</p>								
教科書・参考書					受講生へのメッセージ			
「教育・保育実習の手引」 「実習記録ハンドブック」					保育実習は、あなたが目指している職業を実際に確認する機会でもあります。保育実習指導 I で学んだ内容をふまえ、実りのある実習になるようにがんばってください。			